

第 63 回富山県発明とくふう展 内容説明書 (令和 7 年度)

出品区分	1 企業の部 ・ 2 一般の部		受付 番号	53	
ふりがな	すとっぱーつきかんしょうきのうぱっけーじ				
作品の名称	ストッパー付き緩衝機能パッケージ				
ふりがな	あさひいんさつかぶしがいしゃ	ふりがな	いしだ ちか		
会社名	朝日印刷株式会社	発明者名	石田 智佳		
出願 状況	<input type="checkbox"/> 未出願	出願番号	特許・実用・意匠	2023-115765	2023 年 7 月 14 日
	<input checked="" type="checkbox"/> 出願済	公開番号	特許公開	2025-12712	2025 年 1 月 24 日
		登録番号	特許・実用・意匠	第	号
特徴と要点 (必ずご記入下さい)					
<p>〈 考察背景 〉</p> <p>箱を開封した際に誤って内容物が抜け落ち、破損してしまうことがあります。特に医療用バイアルなどの落下による破瓶は医療従事者にとってのリスクです。</p> <p>また、箱には外部の衝撃から内容物を保護する機能が求められますが、そのためには箱の内側に紙を何度も巻き込んで緩衝壁を作る必要があり、箱の外形と平状態にした展開図が大きくなる傾向があります。しかし近年では環境配慮の観点から、できるだけ外形寸法と紙面積を削減したパッケージが求められています。</p> <p>この発明は、紙の使用面積を最小限にしつつ、開封時の落下の事故を防ぐ緩衝機能パッケージです。</p>					
<p>〈 特徴 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイアルの肩部分に仮止めの仕切り【写真②A部】があたり、バイアルの飛び出しを防止する。しかしバイアルをつまんで引っ張ると簡単に取り出すことができる。 ・緩衝壁の一部分は、他の緩衝壁の一部を利用して形成されており【写真②B部】 <p>同機能を持つ箱と比較すると、紙の使用面積を大きく削減している。【写真①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンタッチで側面と底面の緩衝仕切りが起き上がるため、包装作業性がよい。 					

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)

(※審査用にコピー(縮小)しますので、濃く見やすく作成してください。)

POINT



① 逆さまにしても
バイアルが落下しない

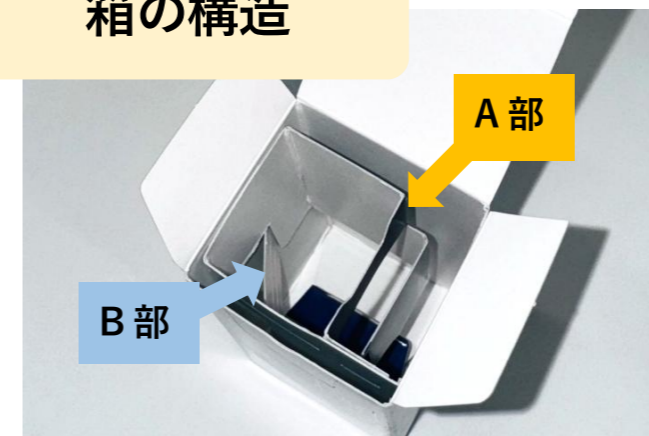


② つまむと簡単に取り出せる



③ 使用紙面積が小さい【写真①】

箱の構造



箱を起こした状態【写真②】



バイアルが入った状態

【記載注意事項】

1. この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
2. 従来のもの(方法)に比し、どこを(何を)どのように工夫したか、要点を判り易く図または写真でご説明下さい。
3. 改良工夫箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
4. この内容説明書は出品申込書と一緒に、令和7年9月18日(木)までに事務局へ提出して下さい。